

令和7年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第1四半期 (R7年4~6月)

①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町 内	売上額	→☀	↗☀	↘☂	↘☂	↗☂	↘☂	↗☂	↗☂	→☂
	仕入単価	→☂	→☂	→☂	↘☂	→☂	→☂	↗☀	↗☂	↗☂
	採 算	↗☂	↗☂	→☂	↘☂	↘☂	↘☂	↘☂	↗☂	↗☂
	資金繰り	→☂	↗☂	↘☂	↘☂	→☂	↘☂	→☂	→☂	→☂
	業界の業況	↗☂	↗☂	↘☂	↘☂	→☂	→☂	↗☂	↘☂	↘☂
北 信		→不変		↗改善	↘悪化		↗改善	↘悪化		↗改善
県 内		足踏み状態にある								
全 国※		↗-22.5		↗-16.3	↗-29.9		↗-21.5	↗-19.7	↗17.6	

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

米の需要が急激に高まり在庫が空になった。(米小売業)

農業機械の値上がりが続き、中古物件の引き合いが増えてきている(農機具販売店)

仕入単価の高止まりが続き、品不足も併せて利益の確保が難しい(自動車販売業)

町の住宅リフォーム補助金が始まり見積書作成依頼が増えた(建設業)

《北信》

年内案件は低調である一方、事務所を中心としたリフォーム工事が増加している(内装仕上業)

米を中心とした食品の値上がりの反動で衣料品は必要な物しか買わない傾向にある(衣料品小売)

労働環境の改善、法的秩序の厳守、人手不足等により業務が遂行できない(運輸)

4月から値上げを行ったが想定より売上額が伸びない(食料品小売)

《県内》

生産は一進一退で推移している。

《全国》

産業全体：物価高による消費抑制と外需不安により停滞感が強まる

製 造 業：原材料高と受注鈍化により収益悪化が続く

建 設 業：民間需要堅調もコスト高により採算悪化

小 売 業：消費者心理の冷え込みにより回復にばらつきが見られる

サービス業：訪日客と季節需要で一部改善もコスト高が重荷

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」